

日本サッカーに

ルネサンスは起こるか？ (5)

枚方FC 近江 達

枚方FCの創設者にして監督である近江達氏は技術や指導の第一人者であるばかりでなく、サッカーというスポーツの裏面にある文化背景をも深く探求している。その論旨は日本サッカー界、否、日本社会の弱点にまで筆鋒鋭く切り込み、本質に迫っている。「日本サッカーは発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と喝破する。……昨年9月号より掲載しておりますこの連載は雑誌サッカージャーナルのご好意で転載しております。

本当に素晴らしいければ

1978年および82年のワールドカップでは、NHKの連日TV中継という破天荒の快挙によって、全国でたくさんの人々がTVの前に釘づけになった。

スポーツとは野球のことだ、くらいに思われているこの国である。しかも、日本チームが出来ていない上に大多数は全くサッカーカーを知らない人たちときている。それでさえ何百万の人々が面白がって見たのだから、これは視聴率がどうのといった低次元の話ではなく、スポーツ文化的に注目すべき未曾有の現象だったと思うのである。いったい、何が人々をそんなにまで引き付けたのか？

どうしたら日本リーグの観客数がふえるか？といふ議論が湧いた頃、たしか、点の入らない試合は面白くないからだ、という説が主流を占めたように記憶している。だが、中継された試合は、ごく一部を除いてシート数も得点も大して多くなかったし、追いつ追わ

兵庫協会の恩人

二宮運次氏 逝く

市協会理事長 一北四郎

戦後の兵庫県協会の発展に多大な貢献された二宮運次氏が1月19日に兵庫医大付属病院で脳梗塞のため死亡されました。

1月20日11時より長田区の朝光寺で行われた葬儀には兵庫県協会長砂田重民氏（衆議院議員）をはじめ多数のサッカー関係者も参列して最後のお別れをしました。

二宮運次氏は戦前に御影師範付属小でサッカーを始められ、関学中、立教大でサッカー選手として活躍されました。

終戦後、神戸に帰られてから神戸クラブで選手、指導者として活躍される一方、審判員としても高校、大学の大会はもとより、国際審判員として数々の国際試合のレフェリーも

勤められました。

サッカー協会役員としては昭和42年から44年に兵庫県協会理事長に就任されたのみならず、技術委員長、審判委員長などの大役を引き受けられ、国民体育大会の成人一般の部監督として岐阜国体準優勝をされたり、五大市体育大会の監督、マネージャー、審判員として又初めの頃は選手としても出場され、神戸市チームが第1回より11連勝を飾る立役者として働かれました。

アフター・オリエンピックとして王子競技場で開催されたアルゼンチン対日本の国際試合実施運営にも尽力されました。

審判委員長としては若い審判員の養成に努力され、昭和30年代以後の兵庫県の審判員は直接又は間接のご指導を受けました。

指導者としては大変きびしい反面一つ一つきめの細やかな心使いもされました。

理事長を退かれた後は監事に就任され今まで協会運営に常に関与され直接、間接に兵

た専門家よりも、素人の方が無欲無心で素直に接するために、かえって本質的良さや面白さがよく分かるというケースは珍らしくない。たしかに日本サッカーは楽しさと縁がない。面白い試合は少ない。でも、こう言えば、たちまち罵声怒号を浴びるだろう。

「プロではあるまいし、見物人のためじゃない。アマには勝敗しかないんだ」

「試合は真剣勝負なんだ。教育の一環としてのサッカーに面白さなど無用だ」

「格闘技であることを忘れたサッカーなど、面白いはずがないじゃないか」

「何も欧米と同じになる必要などない。日本サッカーは外国のまねでなく、日本人独自のものであるべきだ」……etc。

わが国のスポーツが、楽しみから発生した欧米とちがって、それを除外した体育として繁栄してきた特殊事情からすれば、まことにごもっともというほかはない。

でも、強くなつて外国に勝とうと必死の日本だが、ここらでひとつ休止符をおいて、ガラリと別の見方、発想の転換をしてみることも必要ではなかろうか。

たとえば、一般に、日本サッカーは国際的に強くなつたために人気がない、とされている。しかし、弱くても、サッカーが大好きで盛んな国は世界中いくらもある。

私は、そんなに強くなくても、面白ければもっと人気は出ると思う。だが、日本サッカーはどう見ても面白くないので、人気がない。そのために、盛んにならない。いきおい、なかなか強くなれない。これは誰も否定できない事実だろう。

前に書いたように、外国なりの資金も環境もないと勝とうというのは、いささか虫

がよすぎる話なのだから、一服して少々時間

をくつたって今さらどうということもないで

はないか。急がば回れである。

今までとちがつた別の方向から、面白いサッカーを追求実現しようとする指導者が、もっと出てきてほしい、と思うのである。

(つづく)

库県サッカー協会の運営に参画いただき、昨年5月の兵庫県協会創立50周年のパーティーで永年の功績に対し表彰状が贈られ、サッカーワークでの活躍や苦労を回顧されながら楽しい一日を旧友と語られる姿が今も目に浮かびます。

サッカーとお酒をこよなく愛された二宮氏は大会の選先の宿舎でお酒をくみかわしながらサッカー談議に花を咲かせたものでした。ご遺族のお話によりますと闘病中もサッカーハーの話しされ、もう一度元気になってボールを蹴ることを楽しみにされていたそうです。

臨終の際にも右手にサッカーボール、左手にウイスキーボトルを握りしめながらの大往生とのことです。

二宮さん、天国でも酒とサッカーを友としておられることでしおうが、天国から我々、神戸、兵庫のサッカーの将来を見守って下さい。

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449

阪神御影駅南側西へ30m

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671

市バス水道筋6丁目上がる100m 東側

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870

バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895

ブレザーショップ、トアロード店 ☎078(391)0896

ドルチェ・マック、センター街 ☎078(332)0141

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186

阪神深江北駅北側信号西

オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667

国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前(田上ビル1階)

スマラ

灘川店 濱川プラザ2階 ☎078(511)2234

鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234

国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811

国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121

ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578

六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

た専門家よりも、素人の方が無欲無心で素直に接するために、かえって本質的良さや面白さがよく分かるというケースは珍らしくない。

たしかに日本サッカーは楽しと縁がない。面白い試合は少ない。でも、こう言えば、たちまち罵声怒号を浴びるだろう。

「プロではあるまいし、見物人のためじゃない。アマには勝敗しかないんだ」

「試合は真剣勝負なんだ。教育の一環としてのサッカーに面白さなど無用だ」

「格闘技であることを忘れたサッカーなど、面白いはずがないじゃないか」

「何も欧米と同じになる必要などない。日本サッカーは外国のまねでなく、日本人独自のものであるべきだ」……etc。

わが国のスポーツが、楽しみから発生した欧米とちがって、それを除外した体育として繁栄してきた特殊事情からすれば、まことにごもっともというほかはない。

でも、強くなつて外国に勝とうと必死の日本だが、ここらでひとつ休止符をおいて、ガラリと別の見方、発想の転換をしてみることも必要ではなかろうか。

たとえば、一般に、日本サッカーは国際的に強くなつたために人気がない、とされている。しかし、弱くても、サッカーが大好きで盛んな国は世界中いくらもある。

私は、そんなに強くなくても、面白ければもっと人気は出ると思う。だが、日本サッカーはどう見ても面白くないので、人気がない。そのため、盛んにならない。いきおい、なかなか強くなれない。これは誰も否定できない事実だろう。

前に書いたように、外国なりの資金も環境もないと勝とうというのは、いささか虫がよすぎる話なのだから、一服して少々時間

をくつたって今さらどうということもないで

はないか。急がば回れである。

(つづく)

第10回 ジュニア・ウインター・フェスティバル

松山SS3度目の優勝
交野FC初優勝
の小部5
の小部6

これまで社団法人神戸フットボールクラブが主催してきた同大会は昨年から神戸市協会も共催することになり、小6の部には市少年リーグの上位7チームに出場権を与え、神戸FCボイズとともに県外から招待した強豪チームと交流させることになった。昨年は共催となって初めての大会だったので不慣れな点もあったが、今年は協会少年委員をはじめ市内の参加各チームの父兄、指導者の積極的な協力で一層の盛り上がりを見せた。

成績は神戸市を制した神戸FCボイズが小5の部、小6の部で4位に入ったのが最高で、招待チームのレベルの高さを示した。これまで市内では長い歴史を持ち、良い成績を残しているクラブでも県外のレベルにはなかなか通用しないことがよくわかった。今後、市内少年サッカーの指導者に多くの課題を残したといえる。一概に県外チームの方が優れているとはいえないが、少年期に身につけておかねばいけないものと、中学、高校でも十

分身につけることができるものとを見分け、それが勝敗にどう影響を与えているかを知る必要があるだろう。

第10回ウインター・フェスティバル結果
<小6の部>

A組①米子	②神戸FC
③高石中央	④福住
B組①交野	②津山
③多井畠	④高倉台
C組①千歳	②揖保
D組①桜宮	②岐阜市橋
③蓮池	④長尾

【決勝トーナメント】

米子	4	優勝	松山SS
神戸	0	準優勝	交野FC
松山	2	3位	松山SS
御津	0	4位	神戸FC

(敗者トーナメントの記録は省略しました)

【中学2年生の部】優秀チーム賞：神戸FC

・B (4勝1敗) 交野FC (4勝1敗)

上野FC (4勝1敗) 大町第1中 (1勝1分け3敗) 岸和田 (1勝1分け3敗) 高石

中央少年団 (5敗)

【中学1年生の部】優秀チーム賞：星和台中 (3勝1分け) 神戸FC・C (3勝1分け1敗) 津山SS (2勝2分け1敗) 有馬中 (1勝3敗) 啓明中 (4敗)

(中学生の部は順位を決めない交歓試合)

この試合で感じたことは、まず第一に厳しい試合の場数を多く踏んでいるチームの精神面的な強さ、第二に接触プレーでの関東と関西のボールへの執念の違い、第三に個人技術の差が挙げられる。特に三番目の個人技術については、この時期になると高校チームといえども個人技術をベースにしてかなり完成度の高いチーム戦術を身につけており、強さと消極的なプレーが目立ち、BKCとMFの連携のままであるチームであった。それに対して、御影の場合は、レギュラーの半数が高校からサッカーを始めた者であり、なかなか3年生が夏期に戦列を離れていたというプランクもあって、個々の技量の差がそのままチーム力の差となってあらわれた。

過去3回の全国大会出場の経験からいって、単独チームで全国に通用するチームを造るには、小、中、高一貫した指導のできるシステムが絶対に必要であり、今回活躍したチームのほとんどが、それができる環境を持っていた。また、それと同時にそのチーム特有の個性がある指導とチーム作りが必要だと思われた。

最後に、本大会出場にあたり、御協力、声援いただいた多くの皆様にこの紙面をお借りして深く感謝の意を表します。

この試合で感じたことは、まず第一に厳しい試合の場数を多く踏んでいるチームの精神面的な強さ、第二に接触プレーでの関東と関西のボールへの執念の違い、第三に個人技術の差が挙げられる。特に三番目の個人技術については、この時期になると高校

チームといえども個人技術をベースにしてかなり完成度の高いチーム戦術を身につけており、強さと消極的なプレーが目立ち、BKCとMFの連携のままであるチームであった。それに対して、御影の場合は、レギュラーの半数が高校からサッカーを始めた者であり、なかなか3年生が夏期に戦列を離れていたというプランクもあって、個々の技量の差がそのままチーム力の差となってあらわれた。

過去3回の全国大会出場の経験からいって、単独チームで全国に通用するチームを造るには、小、中、高一貫した指導のできるシステムが絶対に必要であり、今回活躍したチームのほとんどが、それができる環境を持っていた。また、それと同時にそのチーム特有の個性がある指導とチーム作りが必要だと思われた。

最後に、本大会出場にあたり、御協力、声援いただいた多くの皆様にこの紙面をお借りして深く感謝の意を表します。

この試合で感じたことは、まず第一に厳しい試合の場数

